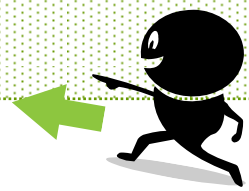
「保守業務の生産量把握方法」研究セミナのご案内

2013 年 12 月　　システム企画研修株式会社

ソフトウェア保守業務の生産量の把握はどうされていますか？
　一般的状況は 「1. ソフトウェア保守業務の生産量把握に関する現状」をご参照ください。
生産量が的確に把握できないために問題を抱えておられますでしょう？
　一般的状況は 「2. ソフトウェア保守業務の生産量把握ができない問題点」をご参照ください。
生産性を的確に把握できたらよいと思われますか？
　それなら 「3. ソフトウェア保守業務の生産量を把握する方法の方向性」をご参照ください。
それはどんな方法かお知りになりたいですか？
　それなら 「4. 保守FP法でのFP値算定方法の概要」をご参照ください。



この方法を具体的にお知りになりたいですか？

それなら以下の研究セミナにご参加ください。

1. 保守業務の生産量把握方法研究セミナ（以下当セミナ）の目的・ねらい（Why）

（1）目的

1）業務の改善には業務の見える化が大前提であることを再認識していただきます。
2）保守業務の生産量把握方法である「保守ＦＰ法」を知っていただきます。
3）保守ＦＰ法の効用を知っていただきます。
4）その活用方法をご研究いただきます。

（2）ねらい

1）保守ＦＰ法を導入いただきます。
2）保守案件の見積りを改善していただきます。
3）保守業務の生産性を把握していただきます。
4）保守業務の生産性改善につなげていただきます。
5）保守業務を日かげ者から表舞台の人気者にしていただきます。

2. 当セミナの内容と実施方法（What、How）

- 時間割をご参照ください。

（1）解説 1 13:30～14:30	● 業務の見える化の勘所
（2）解説 2 14:30～16:30	● 保守業務の生産性把握の現状と問題点 ● 保守ＦＰ法の生い立ち ● 保守ＦＰ法の内容 ● 保守ＦＰ法による生産性把握方法
（3）意見交換 16:30～17:30	● 保守ＦＰ法の問題点 ● 保守ＦＰ法の活用方法 ● 保守ＦＰ法活用上の課題
（4）情報交換会 17:30～18:30	● 自由懇談（飲み物をご用意します）

- 開催場所：中央区堀留（ほりどめ）町区民館
  - 住所：中央区日本橋堀留町 1-1-1　℡：03-3661-8448）
  - 交通：「小伝馬町」or「人形町」下車徒歩 5 分

http://www.meccs.co.jp/shiteikanri/chuo/horidome/

3. 当セミナの参加対象者様（Where）

- ソフトウェア保守業務の管理をされている方
- ソフトウェア保守業務の改善を任務とされている方

4. 当セミナの実施時期（When）

- 第 1 回：2014 年 1 月 22 日（水）13:30～

5. 当セミナの担当講師（Who）

- 解説 1　高村俊彦氏
- 解説 2　弊社　代表取締役　上野則男

---------- 高村俊彦氏略歴 ----------

- 東京工業大学修士課程（経営工学）修了
- 東レ㈱でホワイトカラー生産性向上プロジェクト室長を担任
- 東レシステムセンター代表取締役
  経営の見える化「バランススコアカード方式」の導入を進められた。
- 埼玉工業大学講師〈経営学・経営管理論〉
- 著書「経営の原点に戻る！」（英治出版）

5. 当セミナのご参加料金（How　Much）

- 無料（情報交換会ご参加の場合は 5 千円（税込み））
- 当日会場にてお支払いください。領収書を発行いたします。

「保守業務の生産量把握方法」研究セミナのご案内

１．ソフトウェア保守業務の生産量把握に関する現状

保守業務の特殊性から的確な生産量を把握する方法がありません。

開発の場合は、少なくとも内部設計から結合テストまでの工程は開発量を生産量とすることが可能です。昔から作成プログラム量がその測定基準であり、近年はＦＰ値が生産量の尺度となっております。

ところがソフトウェア保守の場合は、ご承知のように修正追加削除のプログラム行数は、保守業務全体を示す生産量とはなりえません。では代わりに何があるかとなっても、現時点では明快な答えはない、というのが業界の現状です。

２．ソフトウェア保守業務の生産量把握ができない問題点

（１）ソフトウェア保守業務の生産性の改善が進まない

そのため、工数実績は把握できても、生産量が把握できないために保守業務の生産性は把握できません。生産性の把握ができないところに生産性の改善は成り立ちえません。
したがって、保守業務の明確かつ客観的な評価指標は障害件数の削減しかありません。工数や納期の計画と実績の対比数値も使われていますが、それの達成率が高いからと言って生産性が高いとは言えません。言えるのは、見積り能力が優れているか、甘い見積もりが通っている、ということでしかありません。

（２）ソフトウェア保守業務委託費が妥当かどうか判断できない

生産量が把握できないと、「出来高払いの契約」をしようとしても基準になる出来高の測定ができませんので、現状は投入した工数実績で支払うという摩訶不思議な方式がまかり通っているということになります。

工数枠（人数枠）で契約している場合も同じことです。年間の実績工数と次年度の件数増減予想を基に次年度の人数枠を決めていますから、工数実績で支払いをするという点では同じ穴の狢です。

御社はひょっとしたら長年に亘って一般基準よりも高い費用を支払っているのかもしれません。現状では誰もそれを検証できません。

（３）ソフトウェア保守業務委託費の正当化ができない

監査人が鋭い人であれば、その案件に対してそれだけの費用を支払っているつまりそれだけの工数がかかったことは「どうやって正当化できるのか」「だらだら仕事をしていただけではないのか」という追求をするでしょう。
不当な支払いをしているのではないかということに反論できません。いずれそのような追求がされる時代が来ることも想定されます。大企業ほどそのリスクがあります。

（４）保守業務担当の能力評価ができない

業務の生産性が測定できないということは、担当要員の的確な能力評価もできないということになります。一所懸命遅くまで仕事をしている人は生産性が悪く能力が低いのかもしれません。
適切な能力評価ができないということは、担当要員のモチベーション維持が困難だということにつながります。

お申込み・お問い合わせ　システム企画研修㈱
電話：03-5695-3130
mind-pc@newspt.co.jp
http://www.newspt.co.jp/data/semina/shsemi.pdf

３．ソフトウェア保守業務の生産量を把握する方法の方向性

ところが保守業務用のＦＰ法が開発されました。開発業務におけるＦＰ法はシステム不問で共通尺度を算出しようとしています。ところが保守業務は既存のシステムが前提になりますので、そのシステムの個別事情を背負っています。共通尺度の設定はありえません。システムごとに別の基準値にしようと考えたことで、保守業務用ＦＰ法の方向性が見えたのです。「コロンブスの卵」です。

その方法を使いますと、担当のスキルによる生産性の優劣だけでなく、保守の難度が高いシステムは保守業務の生産性が低く、難度が低いシステムの保守は生産性が高く出ます。
保守の難度が高いとは以下のような条件のシステムです。

- システム品質の要求水準が高い
- システムのつくりが悪い
- データ構造が不整合
- 既存システムの理解容易性が低い

４．保守ＦＰ法でのＦＰ値算定方法の概要

保守案件の変更要件を以下のテーブルに当てはめて変更規模を算定します。

- 各種入力の新設変更削除の種類ごとのポイント
- 各種入力の項目単位の追加変更削除ごとのポイント
- 各種出力の新設変更削除ごとのポイント
- 各種出力の項目単位の追加変更削除ごとのポイント
- 各種レコードの新設変更削除ごとのポイント
- 各種レコードの項目単位の追加変更削除ごとのポイント

変更規模ポイント 算定ワークシート		作成者		作成年月日			
区分（ＦＰ法に準ずる）		変更事項	変更事項詳細	原単位 a	件数 b	ポイント c＝a×b	備考
1.ＩＬＦ 内部論理ファイル	マスタファイル	種類追加	共通リソース系１ファイルあたり	10		0	
			在庫系１ファイルあたり	7		0	
			区分用マスタ１ファイルあたり	3		0	
	トランザクションファイル					0	
2.ＥＩＦ 外部インタフェースファイル	出し側					0	
	受け側					0	
3.ＥＩ　外部入力	入力画面					0	
	入力に伴う処理					0	
4.ＥＯ	外部出力					0	
5.ＥＱ	外部照会					0	
合計					0	0	

このテーブルで算定される変更規模ポイントと実績投入工数との比が生産性となります。